第三章

まんがでみる嘉瀬川ダムができるまで

昔も今も

嘉瀬川は私たちに多くの恵みをもたらしてくれる。

私はこの嘉瀬川を、時を超えて見守り続けてきた嘉瀬川の仙人じゃ。
この私が、嘉瀬川ダムができるまでを時間旅行をしながら紹介してあげよう。

昭和24年8月…
佐賀県を直撃した台風は、死者・行方不明者86名、重軽傷者251名、家屋の流失及び全・半壊654戸、床上・床下浸水25,552戸という大きな被害をもたらした。

大水がくるぞ！

ゴゴゴゴオオ

早く逃げろー!!

昭和28年 水害

昭和42年

昭和53年 水不足

平成2年 水害

平成6年 水不足

佐賀平野は「晴れば洪水、照れば干ばつ」といって、災害の多い土地ー

災害が起こるたびに人々はつらい思いをしてきた。災害がどうすればなくなるのだろうかと、ずっと考えてきたんだよ。

もっと安全に安心して暮らせないものだろうか…

くり返される災害を少しでも減らすために嘉瀬川ダムが計画されることに。

昭和41年 嘉瀬川ダムの 予備調査 が始まる。

予備調査：ダムの大きさや問題点、どれくらいの費用がかかるかなどを地形調査や地質調査などから調べること

ここはダムができるとダム湖に沈んでしまう土地だよ。

たくさんの人の暮らしを守るために、土地を提供してくれた人たちがいるんじゃ。

そうした人々への感謝の気持ちを忘れてはいけないね。

ダム建設のための住民説明会

多くの人々の理解と協力をえて、ダムはつくられていくんじゃ。

昭和48年より実施計画調査がはじまる。

実施計画調査：予備調査の結果をもとに、ダムの形や大きさなどを決定するために行うくわしい調査のこと



さまざまな実施計画調査

地形調査

ダムの高さや大きさを決めたり、道路の計画をたてるために測量をします。それをもとにダム建設予定地のくわしい平面図や地形図をつくります。



地質踏査

実際に現地を歩いて、地層のズレや岩の性質をチェックして、地質図を作ります。



水文調査

どのようなダムにするか決めるため、ダム建設予定地一帯の雨の量や川を流れる水の量など、水に関するあらゆる情報を集めます。



ボーリング調査

ダムやダムに貯まる水の重さにたえられる強い地盤かどうか、地層を長い筒状に抜き取って調べます。

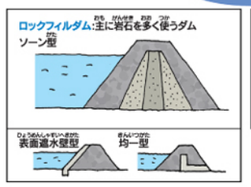


その他にもダムをつくるためには色々な調査をするんですよ。

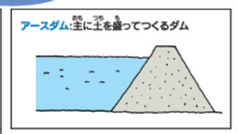


フィルダム　土や岩石を使ってつくるダム

ロックフィルダム：主に岩石を多く使うダム



アースダム：主に土を盛ってつくるダム

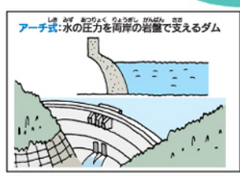


さまざまな調査結果からどんなダムにするか検討されて

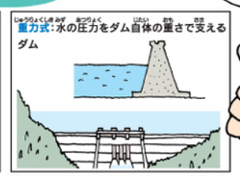
嘉瀬川ダムは重力式コンクリートダムに決定したのじゃな。

コンクリートダム　コンクリートでつくるダム

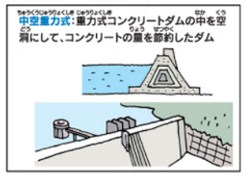
アーチ式：水の圧力を両岸の岩盤で支えるダム



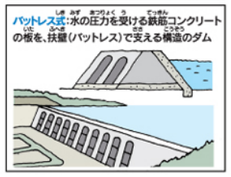
重力式：水の圧力をダム自体の重さで支えるダム

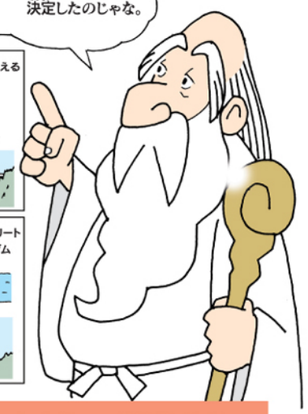


中空重力式：重力式コンクリートダムの中を空洞にして、コンクリートの量を節約したダム



バットレス式：水の圧力を受ける鉄筋コンクリートの板を、扶壁（バットレス）で支える構造のダム





これらを組み合わせた複合式ダムというものもあるよ

昭和63年　嘉瀬川ダム建設事業着手

この年より嘉瀬川ダム工事事務所が設置され、正式に嘉瀬川ダム事業が始まる。



この柱は高いなあ！天まで届きそうだ！

すごいでしょう。銀河大橋の橋脚なんですよ。

ダムができると道路の一部はダム湖に沈むので、道路を新しくつくるんです。

また、道がつながるように橋もつくりました。この橋脚は半分ぐらいまでダム湖につかるんですよ。

ところで君は…？

私はこの辺りの工事を担当している者です。ダムづくりに必要な工事をちょっとご案内しましょうね！

転流工

川の流れを変えます。川の中ではダムの工事はできませんから。

コンクリートをつくる工場の設置

コンクリートの材料を加工したり、コンクリートをつくる設備を、ダム本体の工事現場近くにつくります。

ダムの基礎掘削

ダム本体の土台となるかたい岩盤が出てくるまで掘ります。

なるほど、説明ありがとう！

ダム本体を工事するために、いろいろな準備をするんですよ。

平成19年 10月よりダム本体の打設が始まる。

ようやくダム本体が工事されるのか…。とても長い月日が流れたなあ。

これからまた、毎日毎日コンクリートを積み上げていき、巨大なダムをつくるんじゃな。

一人一人の人間の力なんて小さなものだけれど、ふるさとに対する思いや願いでこんなに大きなものを作ってしまう。すごいことじゃ。

嘉瀬川ダムの本体では、主にRCD工法という新しい技術でつくられています。

やがて完成し

この嘉瀬川ダムが地域の人たちに親しまれて、愛されるダムになることを願うぞ。

長い歳月をかけてつくられる嘉瀬川ダムは、みんなの暮らしを守り、豊かにするダムとなる…

私はこれからもこの嘉瀬川と嘉瀬川ダムを見守っていくことにしよう。

今行われている工事の内容については次のコーナーで！